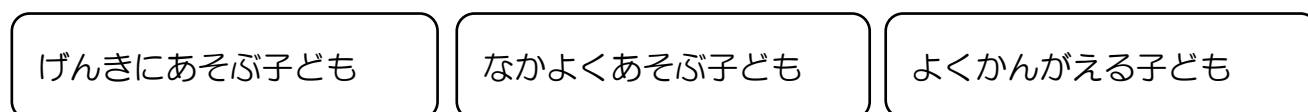


平成30年度新宿区立津久戸幼稚園経営方針 概要

教育目標



目指す幼稚園像 「毎日 明るく 元気よく 笑顔とやさしさにあふれる幼稚園」
～お友だち大好き 先生大好き 幼稚園が大・大・大好き つくどの子～

☆園児が安心して生活できる環境づくり 「最大の環境は教師自身」
教師と園児の信頼関係を育む視点

- 受け入れ、許す寛容な心
- 優しく、繰り返し、教え諭す指導
- 園児の主体性を大切に温かく見守る視線

☆安心して生活できる、園児の居場所となる幼稚園に向けて

- 園児一人一人の実態を十分に把握すること（アセスメント、情報収集・指導の評価、計画の徹底）（生育の過程、健康面、家庭環境、アレルギー、発達等）
- 情報の連絡、報告、相談を徹底し、課題となりそうなことを、園全体で協働して進めること
- 園児なりに寛容な心（当然教師も）をもち、園児誰もが自分を表現できる環境をつくること
- 安心して遊びに取り組み、生活できること
- 保護者と「園児は未来の宝物」という共通の認識をもち、連携して教育活動を進めること

幼児期の発達の特性

- 自分でやりたい「能動的な意識」の芽生え 反面「依存していたい」という意識
- 身体の発育が著しく、運動機能の発達も急激に伸びる時期で、「できる」ことが増え、没頭する。
 - ・信頼できる大人から適時、適切な援助を受けられる。 ・自分の活動が認められている。
 - ・友だちや先生から自分自身の存在を受け容れられている。

生活・遊びの具体的取り組み

心身の健康

人とのかかわり

環境へのかかわり

言語の獲得

感性と表現

今日的課題への対応（新教育要領への対応）

- 社会状況の変化により幼児期の生活体験が不足している。
- 非認知能力（誠実さ、忍耐力、リーダーシップ、自信、意欲、自制心等、測定することができない能力）を、幼児のうちに身に付けさせること。

カリキュラム・マネジメント

ゴールを明確にすること（幼児期の終わりまでに育ってほしい姿）